

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">宗教学講読 A</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部文財2回生 人間人社2回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">貫名 譲</p>
<p>授業テーマ</p> <p>『仏説観無量寿経』の世界にふれる</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>釈尊は数多くの教えを説きましたが、阿彌陀仏（阿彌陀如来ともいう）に関する教えをまとめたものが浄土経典です。特に根本とされるのは「浄土三部経」（仏説無量寿経・仏説観無量寿経・仏説阿彌陀経）です。その中で、仏説観無量寿経はインドの王舎城というところで起こった悲劇を題材として、何が大切かが説かれています。</p> <p>授業では特に登場人物の心理描写に焦点を当てながら、仏教の教えを見ていきたいと思えます。</p>		
<p>評価方法</p> <p>レポート試験（60%）、出席状況・授業態度（40%）、総合評価で行います。</p>		
<p>テキスト</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① はじめに ② 「仏教」って何？ ③ 仏教を説いた人、釈尊とはどんな人物か？ ④ 阿彌陀仏とその世界 ⑤ 『仏説観無量寿経』とは ⑥ 王舎城の悲劇のはじまり ⑦ 悪友との出会い ⑧ 母の願い ⑨ 父を殺す ⑩ 慚愧の心 ⑪ 釈尊との出会い ⑫ 救い ⑬ 『仏説観無量寿経』から見えてきたもの ⑭ まとめ ⑮ レポート試験 		